真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度　　**事務事業評価マネージメントシート**　　作成日　令和8年4月23日

事務事業名	キャリア教育推進事業	担当課・係	教育委員会　学校教育課　指導係
政策名　No	1　「人づくり」～豊かなこころアップ！～	関連するSDGs･DX	 DX
施策名　No	1　確かな学力の育成		

	名　称	初年度からの実績値の比較						目標値
		単　位	R7	R8	R9	R10	R11	R11
成果指標	中学生リーダー研修の参加者の満足度	%	90.4					

事業内容

社会的な自立に向けて、生徒の発達段階に応じたキャリア教育の推進に努める。
①マイチャレンジ推進事業
　全中学校２年生による1日６時間を目安とした連続する３日間の職場体験学習を行う。
参加者数　Ｒ３：４１９人、Ｒ４：７４７人、Ｒ５：７６３人、Ｒ６：６８１人
受入事業者数　Ｒ３：１０７事業所、Ｒ４：２２５事業所、R5：２４０事業所、R6：２３４事業所

②中学生リーダー研修事業
　他校生徒との交流を通して、コミュニケーション能力を高め、自らの学校や社会のことを真剣に考え、諸問題を解決しようとする自主的・実践的な態度を育てる。生徒会役員等、次年度の市内９中学校のリーダーとして活躍が期待される生徒４名（男女２名ずつ）が２日間参加する。

前年度の課題（Check）

①職場体験等を行うことで、共に生きる喜びや感謝の心が育つことで、働くことの意味や自分の将来を考える機会となった。真岡市や中学校区のよさに気付き、愛着をもつことができるようにするにするためには課題がある。
②他校生徒との交流を通して、コミュニケーション能力を高め、自らの学校や社会のことを真剣に考え、諸問題を解決しようとする自主的・実践的な態度を育てることができていた。

7年度振り返り

【1】実績（Do）７年度に実施した事業
①職場体験等を行うことで、共に生きる喜びや感謝の心が育つことで、働くことの意味や自分の将来を考える機会となるだけでなく、真岡市や中学校区のよさに気付き、愛着をもつことができるようにする。
②他校生徒との交流を通して、コミュニケーション能力を高め、自らの学校や社会のことを真剣に考え、諸問題を解決しようとする自主的・実践的な態度を育てる。

【2】結果と課題（Check）
①参加者が共に生きる喜びや感謝の心が育っている。
②他校の生徒との関わりからコミュニケーション能力の向上が見られた。

今後の方向性と具体策

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞り込み　□ 目的拡充　□ 事業統廃合　□ 事業のやり方改善　□ 予算削減　□ 予算増大　■ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【3】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

(1) ただちに取り組むべきこと
①職場体験等を通して、中学生に共に生きる心や感謝の心等を育み、主体的に自己の在り方や生き方を見つめさせる事業なので、もしもの事故に保険に加入して備えながら、事業を継続して取り組んでいくことで、よりよい生き方につなげられるようにする。

(2) 長期的な計画で検討すること
①中学校２年生の総合的な学習の時間の単元の構成を充実させる。３年間を通して共に生きる心や感謝の心を育む。